



Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

Rotary International District 2690 【2019-20】



2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2019-20年度地区ガバナー
古瀬 俱之

Vol. 13
2020.6.30

(JA) 第1回本会議：ロータリーと共に“ちから”をつなごう (Together We Connect) – 2020年ロータリーバーチャル国際...



2019-20年度RIバーチャル国際大会 M.D.マローニー会長あいさつ

Contents

2	地区ガバナーメッセージ	12	地区財団活動資金使用報告
4	地区運営を振り返って	13	地区だより(2020年5月)
5	ガバナー補佐 退任挨拶	14	出席報告(2020年5月)
10	フェイスシールド・マスクの寄贈と 新聞広告の掲載について	15	地区だより(2020年6月)
11	島根県立大学出雲キャンパス RAC に認証状を伝達 バーチャル国際大会を開催	17	出席報告(2020年6月)
		18	鳥取西ロータリークラブ 創立40周年を迎えて

ガバナーを終えて



2019-20 年度
地区ガバナー
古瀬 倶之

ガバナーノミニージェグネート時代

2016年12月、松本祐二パストガバナーから、ガバナーノミニージェグネートの就任を依頼されました。すでに、某氏に決定していると聞いていたので、まさに「寝耳に水」、「青天の霹靂」でした。松本パストガバナーに口説かれ、「今と違うロータリーの世界を経験してみたい」という想いがよぎったことは確かでした。当時の山根一生出雲中央ロータリークラブ（私の所属クラブ）会長が臨時パスト会長会を招集し、今までの経過を報告し、「会員全員で支えて、古瀬をガバナーノミニージェグネートに推薦したい」という事でしたので受諾しました。会員の皆さんに支えていただけるとの事で、たいへん嬉しく思いましたし、この事がその後の3年にわたる苦難（？）を乗り越えるエネルギーになりました。松本パストガバナーから「できるだけロータリー行事に参加するのが勉強です」とアドバイスされ、何も知らない私にとっては何事も新鮮で、とても楽しいデジグネート時代でした。

ガバナーノミニー時代

学ぶ楽しさを実感していました。真っ白の脳に、新しいことは全て知識としてインプットされ、また、同期の皆さんと知り合い、他地区の情報を知り得たことは大きな収穫でした。しかし、徐々に「学ばねばならない」と感じてからはストレスが増えてきました。同期で、たいへんロータリーに詳しい人が数人いました。彼らは地区財団委員長やグローバル補助金を利用した奉仕活動経験者、地区青少年交換小委員長、米山の委員長を経験した人でした。当地区も、「地区委員を多く経験された方が将来ガバナー候補になられたら」と強く思いました。

地区のこと、地区委員会の内容を全く知らない私は正直、焦りました。

ガバナーエレクト時代：前期

いよいよ次年度はガバナーと思うと「漠然とした焦り」と、「学ばねばならない」という重圧感でうつ状態に陥ることが多くなりました。サンディエゴで頂点に達しました。分科会で、アメリカの同期の人から「元来、日本のガバナーはまじめだ」という冗談とも本気ともわからない言葉を聞き、また、多くの欧米のガバナーエレクトの共通した姿勢は「力まずリラックスして、自分の身の丈に合った考え（発言）をしている」と感じた時、小生もこのスタンスでいこうと決め、少し気持ちがラクになりました。協議会の中日、グランドマーチがありました。宮司の装束を着て多くの皆さんが見ている中を、埼玉の同期の夫人（宮司）と並んで歩いた時は、まじめな顔をしていましたが心の中ではすごく楽しんでいました。小生をよく観察していた同期の友人から「サンディエゴで古瀬さんが一番輝いていたよ」と言われました。心を見透かされていました。日本中の宮司さんで、米国の大きなホテルで装束を着て歩いたのはおそらく私だけだと思います（写真）。

ガバナーエレクト時代：後期

2019年2月、帰国してまもなく、地区チーム研修セミナーを開催しました。小生にとって事実上、スタートの日です。何とか言いたいことをまとめましたが、正直、40点の原稿でした。会場の皆さん、特にパストガバナーの皆さんの顔を見ていますと、やはり「40点ぐらいだ」というような表情でした。しかし、小生としては「大きな壁を乗り越えた」というのが実感でした。1ヶ月後PETSがありましたので、この間にマイナス60点を修正して臨みました。国際協議会で研修リーダーをお務めになった佐藤芳郎パストガバナーから小生の講演後、「前回より内容が良くなっていて、今日、自分が話すことが無くなった」と言っていただき、嘘でもたいへん嬉しく思いました。これでやや自信が持てました。

ガバナーになる7月1日から2ヶ月前、すなわち5月1日がガバナー月信、ガバナー日記（ホームページに掲載）の原稿締め切りです。そのため4月初めから書き始めなくてはなりません。知識、文才とも無い私には苦労の連

続でした。ハローワークで「ゴーストライター」を探そうと、真剣に考えました。

ガバナー時代：前期

7月から、末長直前ガバナーの岡山ロータリークラブ(R.C.)を皮切りに「死のロード」が始まりました。10日の早朝、出雲発のやくも号で岡山に行き、岡山R.C.を公式訪問。その夜は岡山泊。翌11日は倉敷R.C.を訪問。その日は倉敷泊。翌12日は倉敷南R.C.を訪問。終えたら大阪。そこで宿泊。翌13日は「第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナー」に出席。その夜やっと出雲に帰るという強行スケジュールでした。途中、某パストガバナーから「ガバナーの話しが時間超過だった。皆忙しいから、ロータリーでは大変失礼にあたる」、また某パストガバナーからは「訪問時はクールビズで」など言わない方がよい。クラブによっては以前から、公式訪問では「会長・幹事はネクタイ着用と決めているところが多いので、ガバナーと随行者が会長・幹事に合わせるのがいい」とのアドバイスをいただきました。おかげで、その後の訪問にたいへん役立ちました。岡山北部で木がレール上に倒れていて、電車が急停車。ワンマンカーのため、運転手が作業衣に着替え、自ら片付けて出発し、40分遅れで会場に到着した事、倉敷で降りるのを寝過ごし、岡山まで乗ってしまい、会合に間一髪間に合ったこと、しかも何もなかったように振る舞い、冷や汗を普通の汗と見せかけたおかげでその後順調に進行した事、飛行機が突然の天候不良のため、隠岐の島を真下に見ながら出雲ま

で引き返した事など、随行幹事さんともども珍道中をたくさん経験しました。会長方針を「ATM」とされ、一瞬？「明るく、楽しく、前向きに」と解説され、心の中で静かに笑いました。ユーモア賞を差し上げたいと考えています。クラブ例会の持ち方、例会終了後から会場を去るまで66通りある事を知りました。楽しい思い出ばかりです。どのクラブも温かく迎えていただき、心から感謝申し上げます。

地区大会も、多くの皆さんにご参加いただき、また、大きなトラブルもなく無事終了いたしました。重ねてお礼を申し上げます。

ガバナー時代：後期

1月末から、不気味なコロナの影が覆い始め、徐々に拡大し、ご存知のように大変なことになりました。ロータリー活動もほとんどできなくなり、最悪の状態が続いています。もがいている最中です。一日も早く終息することを願い、ご奉仕している市森神社に朝夕参拝し祈願している今日この頃です。ガバナー年度の後期はやり残した事が多く、伝えたい事もたくさん残っていて悔いが残りました。古瀬年度をきちんと締めくくりたいと考えていましたがそれが全て中途半端になりました。残念です。

皆さん、どうか強敵コロナに打ち勝ってください。コロナ後、皆さんのご活躍を心から期待しています。そして、今までの皆様のご協力、ご支援に対し、重ねて感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。



国際協議会・ブランドマーチ



地区運営を振り返って



2019-20年度
地区代表幹事
岸 篤彦

I) 古瀬ガバナーエレクトのサンディエゴでの国際協議会(2019.1.13-21)からの帰国をまって、2月に地区指導者育成セミナー、3月の会長エレクト研修セミナー(PETS)、4月の地区協議会、5月の地区会員増強、ロータリー財団合同セミナーを終え、2019年7月からのマーク・ダニエル・マローニーR1会長の「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマ、また、古瀬ガバナーの「I'm a Rotarian!」のスローガンの下、古瀬ガバナー年度の扉を開くことができました。

II) 新しい年度は、まず国際ロータリー第2690地区の66クラブの公式訪問が待ち受けています。この66クラブの訪問も、各クラブの会長・幹事、また、会員の皆様のご協力により、7月10日の岡山ロータリークラブを皮切りに、11月12日の隠岐西郷ロータリークラブの訪問をもって、滞りなく終えることができました。また10月19日、20日には、出雲ロイヤルホテル、出雲市民会館、出雲ドームを会場として、地区内外の会員、ご家族を含め、2000人あまりの皆様に参加登録を頂き、盛大な地区大会を開催することができました。感謝申し上げます。

III) この様に、公式訪問、地区大会といった柱となる行事、その間に開催されました諮問委員会、ガバナー補佐会、各々の地区委員会など、古瀬ガバナー年度の運営に不可欠な行事も、順調に推移しておりました。

そして、年明けからの各グループで執り行われますインターシティミーティング(IM)、地区内の各クラブの周年行事等の開催への期待が膨らむ中で、2019年を終えることができました。

IV) 2020年の新しい年を迎え、古瀬ガバナー年度もあと半年、地区内66クラブの彌栄を願ってのスタートでした。しかし、「新型コロナウイルス感染症」という見出しが新聞、テレビで報じられるようになりました。最初の頃は、日本から遠く離れた中国の武漢市を中心に発生して

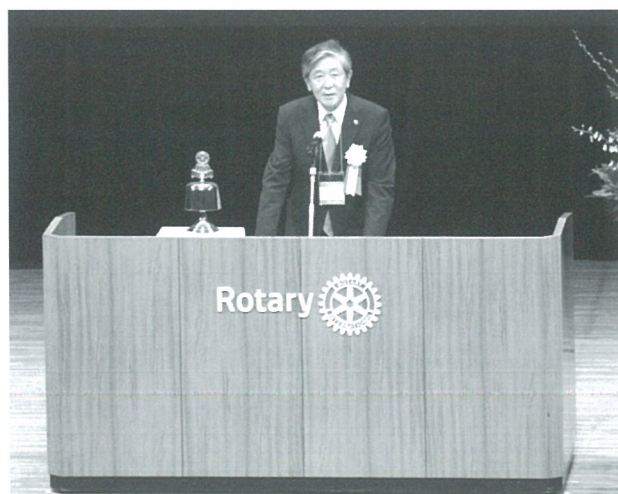
いる症例という認識でしたが、日に日に、この感染症の実体が明らかにされていく中で、ロータリーの地区行事予定は大きく塗り変えられていきました。そして、今日では、インターシティミーティング、各クラブの周年行事をはじめ、ほとんどの行事が中止となっております。

V) 古瀬ガバナー年度の上期は、パストガバナー、ガバナー補佐、各クラブの会長、幹事、また会員の皆様に力添え頂き、スムーズな運営ができました。

しかしながら下期は、「コロナウイルス」という手の施しようのない魔物によって、地区運営が無茶苦茶、目茶苦茶、滅茶滅茶にさせられてしまったことに、もって行き場のない憤りを覚える今日です。特に、地区行事の準備に心血を注がれた担当会員の皆様の心情を思いますと、憤りは募るばかりでございます。とは言いましても、「コロナウイルス」と闘うのではなく、「コロナウイルス」とどの様に向き合い共生していくのか、考えざるを得ない状況です。会員の皆様、コロナ疲れがでませぬ様、くれぐれもお気をつけ下さい。

結びといたしまして、古瀬ガバナー年度の地区運営に、ご尽力頂きましたパストガバナー、ガバナー補佐、各クラブの会長、幹事、地区副代表幹事、庶務幹事、地区委員長、地区委員の皆様、また事務局員の皆様に、心からの感謝を申し上げます。"地区運営を振り返って"のご挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。



地区大会あいさつ

ガバナー補佐 退任挨拶



第1グループ
村木 晴一
(倉吉RC)

本年に入りましてからは、新型コロナウイルスの非常事態で、各種会合、行事、国際大会等々、全て中止となりました。ここまでの自然の猛威を感じさせる事象は、我々の世代ではありませんでした。何と、依ってたつ、基盤の脆さを感じております。

ガバナー補佐に就任いたしましてより、第1グループの各クラブを訪問しての交流、地区での古瀬ガバナーを囲んでの会合、勉強会、講演等々、貴重な経験をさせていただきました。まずはそのことに感謝申し上げます。

そして、皆様方の発言をお聞きして感じましたことは、皆様、謙虚であります。意見は、堂々と語っておられたということです。このことも、これから私の自身の処し方として学ばせていただきました。ロータリーの真髄を親た気がしております。

人間同士の＜絆＞の源泉は、「心を開く」「想いやり」

ではなかろうかと思うのです。少なくとも、私の接した方々は、そのような気構えをもっておられました。

今回の新型コロナウイルスの非常事態は、人々の常識(考え方)、大げさに言えば、資本主義の在り方が問われておりますが、「心を開く」「想いやり」の精神は、科学がいくら発達しても、人間社会が続く限り、大事なものであり続けるものと思います。



倉吉3クラブガバナー補佐訪問例会



第2グループ
越河 允
(米子中央RC)

早いもので、もう一年の月日が流れてしまいました。

当初は、ガバナー補佐を引き受けるにあたり不安でいっぱいでした。

もとより、私はチャーターメンバーの一人としてロータリー歴は長いものの、知識も経験も十分ではありませんでした。

しかし、グループ内の会長、幹事様をはじめ、会員皆様のご協力での任期中に、ロータリーに関して多くのことを学ぶ機会を与えて頂き、職責を何とか果たすことが出来たような気がします。

各クラブのクラブ協議会に参加させていただき、好感と友情をもって温かく迎えていただき、理念や活動のそれぞれの特色ある運営を学ばせていただきました。あるクラブでは、会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも地域のニーズに沿った奉仕活動など、特色あるクラブ運営に尽力されている事もうかがいました。古瀬ガバナーの重点目標に向かって努力されている会長、幹事をはじめとする会員の方々の姿には敬服させられました。

それぞれが思い出に残る貴重な訪問体験になりました。

そして、4月5日には、古瀬ガバナーをお迎えして「かがやけロータリー」をテーマに「グループIM」を開催する予定でした。

ところが、新型コロナウイルスの全世界蔓延と云う前代未聞の想像もつかない大事件が起きました。手に手をつなぐロータリアンに、感染するから手をつなぐなと云わんばかりの事態に

突入してしまったのです。

一年以上前から計画を練り、何回も打ち合わせをして、やっと形が出来た時でした。ガバナーはじめ、各グループの方々と協議し、中止と云う苦渋の決断を致しました。

合言葉「IMの成功」は、あっけなく崩れ落ちてしまいました。会長、幹事、実行委員長をはじめ各委員の皆様のごめしやさは、あきらめきれないものがあつただろうと思います。

この事件は米子中央ロータリークラブの歴史の中の大きな一ページになるだろうと思います。

「幻のIM」として貴重な資料は残しておきたいと思います。

皮肉にも、その年のガバナー補佐が私であったことは、一生忘れないだろうと思います。

貴重な体験をさせていただき、そしてまた楽しい一年でありました。

最後に、ご指導いただきました古瀬ガバナーをはじめ、研修リーダー松本様、2690地区の各グループガバナー補佐様、グループ内の会長、幹事様、ガバナー事務所の方々、そしてお会いしたすべての皆様に感謝申し上げます。そして、多くのロータリアンに出会える機会を頂き、またクラブを超えた仲間が出来たことを大変ありがたく誇りに思います。

最後に、各クラブの今後の益々の発展をお祈りして、退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問

ガバナー補佐 退任挨拶



第3グループ
矢田 和弘
(松江東RC)

何という事でしょう!! 年度当初には想像だにできなかった新型コロナ。隠岐西郷 RC・松江 4RC 訪問や、8 月と 1 月の松江 4RC 合同例会では穏やかな語り口ながらロータリアンとしての強い信念をお持ちの古瀬ガバナーのメッセージと共に、幾度となく 3 月 21 日開催の第 3・4・5 グループ合同 IM の PR をしてまいりました。

この IM はホストクラブ第 3 グループ松江 RC により、「未来志向への挑戦～今、あなたのクラブは夢に向かって『One Team』ですか?～」をテーマとしました。昨年日米欧などの国際共同研究家グループが、世界各地にある 8 つの電波望遠鏡を連動させ、地球サイズの極めて解像度の高い巨大望遠鏡に見立てて観測し、銀河の中心にある巨大ブラックホールの撮影に初めて成功した科学技術者の快挙は、世界科学部門ニュースのトップを飾りました。まさに夢に向かって『One Team』で成し遂げた快挙でした。

この一大プロジェクトの中心となられた国立天文台 VLBI 観測所助教の秦和弘氏に「人類が初めて撮影したブラックホールの姿」と題して、今年度 IM のテーマにふさわしい講演をお願いし、多くのロータリアンの方々に期待

されていましたが、残念ながら 2 月に松江 RC・古瀬ガバナー・第 4 グループ佐々木哲也・第 5 グループ高橋功一ガバナー補佐と相談の上、中止とし幻の IM となりました。入念な準備をしていただいた松江 RC の皆様には心から感謝申し上げます。年度後半は新型コロナによりガバナー補佐の役目も中途半端な幕引きとなりました。

私の所属する「日本建築家協会」は、東日本大震災の半年後に東京フォーラム、他を全館貸切り、180 数ヶ国の建築家が参加した UIA 東京大会での宣言『災難を越えて、団結によって、持続する社会をめざそう』と新型コロナ感染拡大にあたりこの宣言を思い出そうと、全会員に会長からのメッセージが届きました。

新型コロナが終焉することを願うばかりです。

古瀬ガバナー、地区役員やガバナー事務所の皆様、同期のガバナー補佐の皆様、大変お世話になり感謝申し上げます。



松江東RC第1500回例会



第4グループ
佐々木 哲也
(平田RC)

2018年12月の第1回次期ガバナー補佐会から1年半あまり、このような形で任期を終えることになりました。

年度開始後、ガバナー公式訪問に先立つクラブ協議会、第4グループがホスト・コホストクラブとして迎えた10月の地区大会、11月に開催した5クラブ合同例会では、各クラブの会長・幹事を初め全ての会員の皆さんにお世話になりました。

また、就任にあたって古瀬ガバナーから要請を受けておりました第4グループ5クラブの公共イメージ向上活動として、各理事会で何度もご協議いただいた末、各クラブの活動CMが2月からFMいずもで放送されるに至っています。ご協力に重ねて御礼を申し上げます。

今年1月から日本国内でも新型コロナウイルス感染症が徐々に広がり、3月7日のPETSも縮小開催となりました。

私は今年度、ガバナー補佐として、また医師として地区危機管理委員に任命されております。昨年度末に開催された新旧合同委員会では、青少年を対象としたプロジェ

クトにおける危機管理を学びました。今年度、新興感染症という医学的な危機的状況を迎え、それに対する意見を求められることになるなど夢にも思っていませんでした。現在の危機管理委員会は2017年、副ガバナーでもある直前ガバナーが委員長を務められる組織に改変されており、機動性が高まっていると感じています。

IMも開催中止を余儀なくされるに至った新型コロナウイルス感染症は、少し収束の気配を見せ始めていますが、まだまだ安心できる状況になったわけではなく、油断することができません。1日も早く、感染の懸念がない状態でロータリー活動が行えることを切に望んでいます。

皆様方には大変お世話になり、本当にありがとうございました。



第4グループ5クラブ合同例会 エンディング「手に手つないで」

ガバナー補佐 退任挨拶



第5グループ
高橋 功一
(浜田RC)

2019年度浜田ロータリークラブ岩谷会長の「おい頼むぞ」の一言から私のガバナー補佐は始まりました。浜田ロータリークラブのガバナー補佐経験者を顧みると凄い先輩ばかりで「私でいいの」と思いました。しかし、ガバナー補佐をさせて頂いての結論は「感謝」の一言に尽きる

と思います。

古瀬ガバナーに出会えたこと、2690地区の多くのロータリアンに出会えたこと、第5グループの例会訪問や活動内容を知ることができたことなどは、私の人生の大切な経験となりました。この経験を活かしロータリークラブは勿論、地域への奉仕の還元ができればと考えています。例会訪問も思うように廻れませんでした。各クラブの活動は、さすがロータリーと思えるものばかりでした。またロータリー活動への参加、インターアクト活動への参加は若い後継者の姿を見て力強く感じられるもので

した。インターアクトの年間計画は指導教諭の元、より具体的に私達ロータリアンは、より積極的に交流・協働すべきだと感じました。

私自身が心豊かな人生を送るためにも私のロータリーへの関りは生涯つづくと思います。

最後に一年間、私のお世話をさせて頂いた随員幹事の鶴田会員、木戸会員、事務局の平木さんに感謝します。そして御協力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。



浜田ロータリークラブ クラブアッセンブリー



第6グループ
金谷 晋爾
(玉島RC)

2020年に入り、新型コロナウイルスの関係で、全てのロータリーの活動が延期及び中止になりました。玉島RCの小野会長、平井IM実行委員長をはじめとするメンバーが心血を注いで準備をして頂いていましたが、新型コロナウイルス蔓延の為に不要不急の外出、密閉・密集・密接の三密を避けて、命をまもることが一番大事と思いIMの開催を断腸の思いで断念致しました。

そこで、今回のIMは、私が各クラブを訪問してビデオメッセージによるIMにさせて頂きました。今回のIMのテーマは、『地域に根づくロータリー活動』です。やはり、地元密着で活動をする必要がありますし、よりロータリーを地域の皆さんに知って頂く活動もしていかなければならないと痛感しています。よく、ロータリークラブさんは、何をしているクラブさんですか？と尋ねられます。奉仕団体ですか？お金持ちの人が集まっている団体ですか？と聞かれます。私は、「何か良い事をしよう」と思っている人が集まっている団体です。と答えます。

さて、マーク・ダニエル・マローニ RI 会長は、『ROTARY CONNECTS THE WORLD』《ロータリーは世界をつなぐ》を会長テーマに掲げられました。そして、古瀬倶之地区ガバナーは、『I'm a Rotarian』《私はロータリアンです》を地区スローガンとして活動されています。古瀬ガバナーは、ロータリアンであることの誇りを持って、どこでもロータリーバッジを付け「私はロータリアンである」ことを示そうと提言されています。

そして私達は、いつも誇りを持ってロータリーバッジを胸に付けていると思います。このロータリーの襟ピンを身に付ける選

択をしたのは「私自身」であり「貴方自身」です。さあ、これからどうするかは、「私しだい」であり「貴方しだい」です。また、古瀬ガバナーは、長期戦略の重要性も唱えられています。今、ロータリーは大きく変わろうとしています。ただし、変わって良いものとそうでないものを各クラブで協議しながら今後の自クラブの方向性を出すためにも長期戦略計画が必要になってきます。つまり、「柔軟性」と「革新性」は、ロータリーの未来を定義するものであり、ロータリーの新しい戦略計画の基本的な柱になると言われています。会員相互の情報交換をはじめ、親睦をより深めて頂き今後のロータリー活動をより実り多いものにするのも「私しだい」であり「貴方しだい」です。

今年度、私の所属する玉島RCでは、「OB会」を立ち上げました。年齢的な事、会社の事、健康の事、等々で退会されたメンバーの方々と退会後にも絆を持ち色々な情報交換をしながら会員増強をはじめロータリー活動に繋がる「OB会」にしたいと思ひ提案をさせて頂きました。自クラブの色々な行事にも参加して頂き親睦を深めて頂ければと思います。今回、ガバナー補佐をお受けして各クラブを訪問させて頂きました。各クラブさんへ3回から5回の訪問をさせて頂きました。各クラブの皆さんに大変、温かいおもてなしを受けて心より感謝申し上げます。

他クラブの訪問は、私にとりましては、とても有意義な訪問でした。また随行して頂いた会員も他クラブへのメークアップは、とても良い刺激になったはず。そして、自分のクラブの良いところ、もしかして何か足りないところが、見えたかもしれません。

さあ、ロータリーの扉を開くのも閉じるのも「私しだい」であり「貴方しだい」です。共にロータリーを楽しみましょう。

1年6ヶ月本当にありがとうございました。



ガバナー補佐 退任挨拶



第7グループ
楠戸 登美夫
(倉敷中央RC)

初めに第7グループガバナー補佐として任期終了迎えるにあたり、地区ガバナー古瀬俱之様、ホストクラブ出雲中央ロータリークラブの方々、大変お世話になりました。この場お借りしてお礼申し上げます。また、第7グループ会長、幹事、会員の方々にはアンケート他無理なお願いにも心良く対応いただきありがとうございます。クラブ訪問の際にも温かく迎えて頂き気づかいに感謝致します。各クラブの会員の方々の経験談、知識、行動、奉仕活動には感銘を受け大変勉強になりました。会長、幹事会等を通じて皆様と共有して盛り上げて行けたらと思います。

昨年11月には、第48回ロータリー研究会に参加させて頂きました。その場では直接話を聞くことが出来ない様な方達の貴重なお時間、話しを頂きました。例会出席の大切さは、その中で常に学び、出会い、人々のつながり、地域社会のネットワークそれがロータリーのつながりの原点ロータリーは世界をつなぐ、テーマになる。

インターシティミーティングにつきましては、7グルー

プのクラブには全員登録頂いたのですが、新型コロナウイルスの感染拡大の為、残念ながら中止になったのは残念です。

特別講演の柳瀬和之様の講演はCDを作成して配布致します。クラブの皆様で見たいと思います。作成は時節から時間を頂きたいと思います。各クラブの会長、幹事様、委員の方々には例会の中止、調整、連絡はご苦労されたと思います。感謝申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染が早く終結することを願います。

今後とも一層のご指導ご鞭撻をお願いし、お礼の言葉とさせていただきます。



国際ロータリー第2690地区 2019-2020年度

地区大会記念式典

記念講演 演題 「社会を生き抜く決断力」 講師 東国原英夫氏
地区大会



第8グループ
原 武仁
(真庭RC)

2018年12月9日(日)、出雲市にて第1回次期ガバナー補佐会が開催され、初めて11名のガバナー補佐にお会いした。存知あげないお顔ばかりだなというのが第一印象でした。かなり緊張していたのだろう自己紹介で何を話したのか覚えていません。

「ガバナー補佐に期待されるもの」という演題で、松本リーダーの講演を聞きました。“各クラブを4回訪問してください。”という事だけ頭に入っています。第1回は2019年7月～9月、2回目は2020年2月～3月に5クラブを訪問させて頂き、IM終了後の4月～5月に第3回目の訪問を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止いたしました。残念です。

IMについて；備前RCと共催で真庭市勝山のポンテホールで、4月4日(日)開催予定でした。“知恵を出し、汗をかいて、手作りのIMにしよう”を合言葉に、メンバー丸となって、昨年より講演・フォーラムに、4年後に1万円札の肖像になる“澁澤栄一”翁のひ孫にあたる澁澤寿一氏をお招きし、演題：私たちの生きる時代、栄一の生きた時代(副題：持続可能な社会を目指して)と云

う題目で御講演を頂き、さらに、フォーラムでは、「先人の知恵を引き継ぎ、心の豊かさに気づく勉強会」として、備前・真庭で活動している方々に参加して頂き、自分の手で作り上げていく「生き方」、誇りを持って生きていく「考え方」、互いを尊重した「暮らし方」、人との絆を大切に、お互いに助け合う暮らし。という考えで、「地域をつなぐ」から始め、「ロータリーは世界をつなぐ」につながればとおもひ企画いたしました。また、懇親会は、地元特産の食材を使い、酒・ワイン等こだわりのもので歓迎しようと計画していました。残念ながら新型コロナウイルスのために、無念であります。断腸の思いで中止をお願いしました。真庭RC・備前RCのメンバーの皆様大変お世話になりました。感染者が1万5千人を超え、死亡者も577人となり、終息する見込みはたっていません。少なくともRCからクラスターが発生したと言われないよう気をつけたいものです。

古瀬ガバナーはじめ役員・事務局の皆様、第8グループのメンバー・事務局の皆様1年間お世話になりました。心より感謝申し上げます。



第8グループ5クラブ合同懇親会

ガバナー補佐 退任挨拶



第9グループ
岡本 富美子
(備前RC)

皆様におかれましては、現在
コロナウイルス感染拡大防止に
懸命の日々を送っていらっしゃる
ことと存じます。改めて、日
本の将来を思われる皆様の厚意
に心が熱くなります。

さて、我々古瀬ガバナー年度
もいよいよ終わります。この年
度は思いがけない歴史的災難に
見舞われた年度でありました。
2018年12月ガバナー補佐研
修会にて初めてお目にかかるガ

バナー補佐の皆さんと一緒に、今日まで精進させて頂き
ました。経験不足で行き届かない事が多く、地区の皆様
には大変ご迷惑をお掛け致しました。特に緊張しました
場面は、クラブ協議会への助言者としてガバナー補佐の
役目遂行でした。何しろ、私ごときが助言を差し上げる
ようなクラブの皆様ではありません。皆様は優れた方ば
かりですので恥ずかしい限りでご迷惑をお掛け致しまし
た。しかしこのような形で組織を、地域を、日本をじか
に動かされている皆様とお知り合いになれた事で、様々
な出会いと機知を得、大変すばらしく思いました。

さあ後半戦に入り、IMや交流会を！といった矢先に
コロナウイルスが侵入してきましたので例会、すべての

行事が中止となりました。このような状況は、アルベール・
カミュが書いた「ペスト」に描かれた黒死病によるヨー
ロッパ社会状況、人間の不安な心理状態と全く同じです。
まさに不条理の世界の中に突入してしまいました。とこ
ろが現代社会、昔と違ってすざましい速さの科学や医学
の力でこの災害を一時的にでも早く乗り越えることがで
きるようになりました。「ペスト」が書かれた時代に学
ぶことは、閉鎖された町の市民は、黒死病により他の社
会から断絶を余儀なくされ、その街で顕在化していた権
力や富裕層による特権階級などはすべて無くなり、市民
は全て「命」という価値に平準化されるというくだりが
あります。私たちにとても同じことだと思えます。

このような災難に見舞われた私たちの年度ではありま
すが、この機会を糧に、今一度、人が人らしく生きるた
めのスキルを再考する機会と捉え、皆様とともに再会で
きる日を楽しみにして次年度を迎えたいと思います。ほ
んとに、各クラブ会長
様、幹事様、クラブ会
員の皆様、大変お世
話になりありがとう
ございました。健康
に気を付けましょう。



岡山東ロータリークラブ クラブ協議会



第10グループ
今井 健
(岡山南RC)

2018年12月開催の第1回
次期ガバナー補佐会以降、たび
たび出雲市へ通い、ガバナー補
佐としての心構えを学び、第3
ゾーンロータリー戦略計画推進
セミナー(大阪)およびロータ
リー研究会(神戸)や各種研修
会に参加し、ロータリーについ
て多くを学ばせていただきました。

ガバナー補佐の役割としてグループ内の各クラブに地
区ガバナーの意向を伝え、クラブの活動状況を地区ガバ
ナーに報告できたかは自信がありませんが、ガバナー公
式訪問前にクラブ協議会へ出席させていただき、各ク
ラブの会長、幹事はいずれもクラブの活性化、会員増強、
クラブの実情にふさわしい奉仕活動を考えておられ、会
員の皆さまもそれに呼応して努力されている姿に接する
ことができました。また、訪問時に多くの会員の皆さま
とお知り合いになれたことを大変うれしく思っております。

IMにおきましては、「うるおいある人生の過ごし方」
をテーマに、サブテーマは「食と健康とロータリー」とし、

内科・循環器科エキスパート 池谷敏郎氏の特別講演を
はじめ、高岡敦史岡山大学大学院教育学研究科准教授の
コーディネートで、野菜ソムリエ上級プロ 江草聡美様、
薬膳アテンダントでサバジェンヌの池田陽子様に貴重な
お話を聞かせていただきました。

岡山西南・岡山南ロータリークラブIM実行委員会の皆
さまに大変お世話になり、ありがとうございました。また、
第10・第11グループの皆さま、全員登録、多数ご出席
いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためクラブの例
会も取りやめとなり、グループ内のクラブ訪問を最後に
できなかったことが心残りです。

ガバナー補佐を不十分ながら続けさせていただけたの
は、古瀬俱之地区ガバナー、地区役員の皆さま、地区ガ
バナー事務所の皆さ
ま、第10・第11グルー
プ各クラブの会長、
幹事ならびに会員の
皆さまのおかげと大
変感謝しております。



第10・第11グループIM開催

ガバナー補佐 退任挨拶



第11グループ
油谷 直幸
(岡山西南RC)

第11グループ・ガバナー補佐として研修・準備期間の前年度8ヶ月を含め、本年度1年間と長期間ではありましたが、終わりを迎えるにあたり大変短く感じられました。

PETS、地区研修会、地区大会などの地区行事、またクラブ訪問などでは、今まで30年余り在籍したロータリー活動とは全く違い、貴重で凝縮された1年間であったと思います。

クラブ訪問では例会出席、クラブアッセンブリー、周年行事などに出席させていただき、十分なるお手伝いも出来ないまま終わりを迎えることに大変申し訳なく思います。

もっともっと委員活動などにも出席させていただきながら、各クラブの良いところをたくさん吸収・勉強させていただきたかったと今になって反省しています。

2月ごろより新型コロナウイルスの日本国内はもとより世界的な発生により、例会、ロータリー活動、委員会活動などが次々と中止になったことを非常に残念に思い最後まで役目を果たしたかったと悔やまれる日々でした。

しかしながら、第10・第11グループ合同IMがかりうじて1月に実施出来たことは大変嬉しく思います。

出席いただきました会員の皆様の今後のロータリー活動の一助になれば幸いに思います。

一緒にホストを務めていただきました岡山南ロータリークラブの会長・幹事様はじめ、実行委員会の皆様なくては実施出来なかったことと篤く感謝申し上げます。

以降、実施出来なかった多くのグループに於かれましては、非常に残念であると思います。

これまで地区事務局に於かれましては古瀬俱之ガバナーはじめ地区役員の皆様には色々ご指導いただきまして誠に有難うございました。

また各クラブの会長・幹事様、役員ほか会員の皆様には、大変お世話になり有難うございました。

各クラブ最後まで活動に感謝申し上げ、益々のご発展を祈念いたします。



第10・第11グループIM開催

フェイスシールド・マスクの寄贈と新聞広告の掲載について

古瀬俱之地区ガバナーは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のための地域社会奉仕の一環として、岡山県、鳥取県、島根県にフェイスシールド 48,960 枚と不織布マスク 40,000 枚を贈呈すると共に、新型コロナウイルスについての啓蒙のため、新聞広告を5月18日に、山陽新聞、日本海新聞、山陰中央新報に掲載し、コロナ感染症への理解、予防について呼びかけられました。

島根県には、5月11日古瀬地区ガバナーが、県庁に丸山知事を訪ね、また鳥取県には、5月11日岩崎地区ガバナーノミニが県庁に、平井知事を訪ね、それぞれフェイスシールド 12,480 枚、不織布マスク 10,000 枚の目録を手渡しました。岡山県には、フェイスシールド 24,000 枚、不織布マスク 20,000 枚の目録を菊池ガバナーエレクト事務所から、県の担当者に贈呈しました。

島根県の丸山知事、鳥取県の平井知事、岡山県の担当者から、ロータリークラブの社会貢献活動に感謝する旨の話がありました。

これらのフェイスシールドと不織布マスクは、それぞれの県を通して、医療機関、老人福祉施設、障害者施設などに配布されました。



フェイスシールド・マスクの目録を贈呈

島根県立大学出雲キャンパスRACに認証状を伝達

2019-20年度出雲RC会長 日野 実

今年3月24日、出雲ロータリークラブの提唱により、島根県立大学出雲キャンパスローターアクトクラブが誕生しました。会員は6月末現在、同大学生10名。半世紀以上の歴史がある出雲西高等学校のインターアクトクラブと連携しながら、初年度は、海浜清掃、ポリオ撲滅街頭キャンペーンなどの活動を計画しています。

振り返りますと、昨年7月、初例会の際、当クラブとしてRAC設立を提唱しました。この後、同大出雲キャンパスと共に設立に向けた協議を開始し、当クラブ内に設置したRAC設立準備委員会（渡部孝委員長）が、RACに関する調査・申請など、設立に向けサポートしてもらいました。今年2月、当クラブ理事役員会での承認を経て、国際ロータリーに設立が申請されました。

6月23日、同大出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町）にて、2019-20年度の出雲ガバナー、同大の山下一也学長代行をお迎えし、認証伝達式を開催しました。当日は、当クラブ理事役員、RAC設立準備委の渡部委員長など会員らが見守る中、同RACの小木曾佑輔代表に

古瀬ガバナーより認証状が手渡されました。頼もしさを感じられる凛とした学生らの顔立ちが印象的でした。

7月、島根県立大学出雲キャンパスローターアクトクラブは、国際ロータリー第2690地区7つ目のRACとして、本格的な活動をスタートさせます。当クラブとしても、若いRAC会員の活動を支え、共に活動してまいります。

末筆となりましたが、RAC設立に際しお世話になりました、国際ロータリー日本事務局、浜田ロータリークラブ、島根県立大学出雲キャンパスの関係者の皆様、大変ありがとうございました。私事、ロータリー活動の輪を一層広めてまいることをお誓い申し上げ、この度の御礼とさせていただきます。



ローターアクトクラブ認証伝達式 集合写真

バーチャル国際大会を開催

2019-20年度月信出版・地区HP管理委員長 朝山 一玄

本年度のハワイでのロータリー国際大会が中止になったことに伴い、6月20日（土）から26日（金）までの一週間、WEB上でバーチャル国際大会が開催されました。

6月20日は午前8時（＝シカゴ時間；日本時間同日下午10時）から第1回本会議「ロータリーと共に「ちから」をつなごう」、21日は同じ時間から第2回本会議「ロータリーと共に学びを深めよう」が行われ、続く22日から26日までは「会員の参加を促すバーチャルツールの使い方」「新しいクラブの種類を通じたロータリーの成長」など、さまざまなテーマの分科会が行われました。本会議は日本語をはじめ多国語の同時通訳のもとに行われたので、マーク・ダニエル・マローニーRI会長（表紙写真）、セリア・ジアイ国際大会委員長、ホルガー・クナーケRI会長エレクトをはじめとする多数の講演者のメッセージを臨場感を持って受け取ることができました。

スピーチの合間には、オーストラリアのポップオペラ・カルテットの音楽、ホノルル壁画プロジェクトの紹介、ハワイ

出身のウクレレ奏者、ジェイク・シマブクロさんの特別パフォーマンスなどを楽しむことができました。

また、この国際大会の一環として、史上初の「バーチャル友愛の家」が開催され、ロータリー親睦活動グループ、ロータリー行動グループ、パートナー団体、プロジェクト、国際ロータリーのリソースなどの展示を見たり、質問をしたり、仲間の会員とバーチャルにつながりました。

このバーチャル国際大会は、My ROTARY にログインして「2020年バーチャル国際大会」に移動すると、本会議や分科会の視聴、友愛の家への参加などを行うことができます。パワーポイントのスライドや配布資料など、バーチャル国際大会分科会関連の資料へも、ラーニングセンターからアクセスすることができます。2021年6月に台北で開催される国際大会への登録もできますので、会員の皆さん、My ROTARY にログインして世界のロータリアンとつながるための扉を開いてみて下さい。

国際ロータリー 第 2690 地区

2019-20年度 シェアシステム 地区財団活動資金(DDF)使用に関する報告

(日本円金額は参考数値であり、地区補助金申請時のロータリーレート 1ドル=110円で計算しています)

収 入	ドル	円
3年前の年次寄付額の50%	248,084	27,289,236
恒久基金収益の50%	23,887	2,627,528
前年度からのDDF繰越額等	61,446	6,759,043
合 計 ①	333,416	36,675,807

支 出	申請額		使用額	
	ドル	円	ドル	円
地区補助金：DG2085129 (上限額 161,469ドル) ※注1				
■クラブ提唱 奉仕プロジェクト ※注2	72,342	7,957,619	71,813	7,899,429
27件・・・松江東RC 岡山南RC 江津RC 鳥取北RC 境港RC 高梁RC 鳥取RC 倉敷水島RC 大社RC 岡山後楽園RC 津山RC 津山西RC 岡山北西RC 岡山中央RC 倉吉RC 倉敷東RC 岡山東RC 出雲RC 新見RC 倉敷南RC 津山中央RC 出雲南RC 米子東RC 浜田RC 出雲中央RC 益田西RC 米子RC				
■奨学金 磯崎肇さん / キャンベル大学 (豪)	20,000	2,200,000	20,000	2,200,000
■奨学金 楠田悠貴さん / パリ第1大学 (仏)	20,000	2,200,000	20,000	2,200,000
■臨時費 ※注3	32,293	3,552,230		
災害支援プロジェクト (新型コロナウイルス関連含む)				
6件・・・岡山旭川RC 倉敷水島RC 倉敷南RC 児島東RC 第2690地区 岡山東RC ※注4			41,292	4,542,120
■奨学生オリエンテーション会場費 ※注5	990	108,900	0	0
■補助金管理セミナー会場費・印刷費	11,000	1,210,000	7,476	822,360
■補助金管理運営費 (補助金額の3%まで申請可)	4,844	532,840	888	97,680
小計	161,469	17,761,588	② 161,469	17,761,588
グローバル補助金				
■奨学金：GG1990760 大森貴宏さん / テュレーン大学 (米)	25,000	2,750,000	25,000	2,750,000
DDF 寄贈				
■ポリオプラス基金			50,000	5,499,999
■ロータリー平和フェローシップ			25,000	2,750,000
■ロータリー災害救援基金			15,000	1,650,000
小計	25,000	2,750,000	③ 115,000	12,649,999
合 計 ④ = (②+③)			276,469	30,411,587

差 額	ドル	円
2020-21年度への繰越額 (①-④)	56,947	6,264,220

- ※注1 地区補助金の申請上限額は(3年前の年次寄付額の50% + 前年度の恒久基金収益の50%) × 50%です。
2019-20年度および2020-21年度は、それぞれに2017-18年度末DDF残額の10%を上乗せします。
- ※注2 各クラブ提唱奉仕プロジェクトおよび災害支援プロジェクトの詳細は2019-20年度地区活動報告へ掲載します。
- ※注3 補助金の20%までを臨時費(使途未定)として申請することができます。
- ※注4 昨年度に引き続き災害支援プロジェクトを募集しました。
臨時費(使途未定)と申請済みプロジェクトの残額を災害支援プロジェクトに使用しました。
- ※注5 奨学生のオリエンテーションはオンライン形式で行ったため経費は発生しませんでした。

地区だより(2020年5月)

新会員 紹介



金森 実
倉吉 RC



山根 正広
倉吉 RC



森田 雅之
米子東 RC



中尾 靖
大社 RC



山田 武司
倉敷 RC



横山 光彦
岡山東 RC

ロータリー財団への寄付

ポール・
ハリス・
ソサエティ
(ポリオプラス
への寄付)



佐藤 芳郎
岡山南 RC

ポール・
ハリス・
フェロー
(年次基金
への寄付)



長谷川 純一
米子 RC



土井豆 勝磨
出雲南 RC



平島 厚
岡山城 RC

クラブポリオプラス寄付

倉吉 東RC	815.49ドル
松江 東RC	120.00ドル
松江 南RC	1,461.15ドル
総社吉備路RC	93.46ドル

クラブ年次基金

倉吉 東RC	607.48ドル(ミリオンダラーミール)
鳥取 北RC	1,458.99ドル(ミリオンダラーミール)
鳥取 西RC	1,236.95ドル(ミリオンダラーミール・新会員寄付)
松江 南RC	827.03ドル(例会費より寄付)
倉敷 東RC	113.08ドル(新会員寄付)

年次基金にご寄付をいただいた方々

鳥取北RC	入江 宏一、入江 容子、梅田 清志、笹野 真紀、白岩 裕己、 齊藤 敦、田中英剛、田中和夫、塚田 隆、田邊賢二、福田 収、本家 勇子、 松本 啓介、水野 治郎、森下 泰年、山田 雅文、米田 由起枝、小林 弘尚、宮崎 正彦、牧浦 繁雄、前田 清吉、道上 正規、森本 美明、米澤 信也、植田 哲朗
鳥取西RC	吉田 博、牧浦 康寛、岩崎 陽一
境港RC	庄司 尚史
松江南RC	安達 亨、関谷 忠之
新見RC	中村 浩吉
倉敷東RC	今林 宏典、井上 泰弘
倉敷南RC	石田 篤史、流田 龍扶、小野 顯人
津山中央RC	國米 一朗
津山西RC	本行 毅大
岡山東RC	石井 英行

ポリオプラスにご寄付をいただいた方々

鳥取北RC	乾 康彦、入江 宏一、入江 容子、植田 哲朗、大谷 芳徳、岡田 克夫、小林 弘尚、坂根 裕、笹野 真紀、霜村 哲男、白岩 裕己、竹田 達夫、田中 英剛、田中和夫、田邊賢二、田村 博信、田村 文男、千金 周一、塚田 隆、西浦 伸忠、野田 英明、秦野 諭示、福田 収、本家 勇子、前田 清吉、牧浦 繁雄、梅田 清志、松原 雄平、松本 啓介、道上 正規、宮崎 正彦、森本 美明、山田 雅文、山根 敏男、米澤 信也、米田 由起枝、中島 規夫、山本 清司、堀いづみ、森下 泰年、 水野 治郎、中嶋 司耕、足立 日出男、本多 崇、齊藤 敦
新見RC	西村 誠

メモリアル・コントリビューター

岡山城RC	平島 厚が父、平島 明雄のために
-------	------------------

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



福井 雅人
倉吉東 RC



笹野 真紀
鳥取北 RC

個人特別寄付

鳥取北RC	福田 収、入江 宏一、梅田 清志、小林 弘尚、齊藤 敦、白岩 裕己、 田中英剛、田中和夫、塚田 隆、米田 由起枝、野田 英明、秦野 諭示、本家 勇子、 前田 清吉、牧浦 繁雄、松本 啓介、水野 治郎、道上 正規、宮崎 正彦、森下 泰年、 森本 美明、山根 敏男、米澤 信也、入江 容子、植田 哲朗
鳥取西RC	牧浦 康寛
米子東RC	秦野 啓一

クラブ特別寄付

倉吉 東RC	79,000円(米山ランチ)
鳥取 北RC	100,000円(米山ランチ)
鳥取 西RC	39,600円(米山ランチ)

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



名誉会員
熊野 光紀
倉吉東 RC

逝去日/2020年5月21日
享年/84
入会日/1969年11月1日



玉川 海潤
鳥取中央 RC

逝去日/2020年5月18日
享年/67
入会日/1989年6月5日

出席報告 (2020年5月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会 数	会員数			
			2019年 7月1日	5月末日	内女性 会員	増減
第1グループ	智 頭	83.33	2	6	6	0
	倉 吉	—	0	54	54	2
	倉吉中央	—	0	24	22	3 ▲ 2
	倉 吉 東	93.44	4	48	47	3 ▲ 1
	鳥 取	—	0	60	63	4 3
	鳥取中央	—	0	38	38	3 0
	鳥 取 北	73.56	2	45	48	5 3
	鳥 取 西	—	0	58	60	1 2
	小計(8)	86.88	—	333	338	21 5
第2グループ	境 港	—	0	41	41	1 0
	米 子	—	0	76	69	4 ▲ 7
	米子中央	—	0	33	40	1 7
	米 子 東	55.96	1	109	110	11 1
	米 子 南	—	0	68	69	4 1
	小計(5)	55.96	—	327	329	21 2
第3グループ	松 江	—	0	65	65	0 0
	松 江 東	—	0	49	49	3 0
	松 江 南	—	0	66	65	5 ▲ 1
	松江しんじ湖	—	0	51	48	10 ▲ 3
	隠岐西郷	—	0	24	22	2 ▲ 2
	小計(5)	—	—	255	249	20 ▲ 6
第4グループ	平 田	94.44	1	41	42	2 1
	出 雲	—	0	55	55	2 0
	出雲中央	83.33	3	46	47	3 1
	出 雲 南	—	0	70	72	6 2
	大 社	—	0	53	60	6 7
第5グループ	小計(5)	85.63	—	265	276	19 11
	江 津	74.49	3	34	35	2 1
	浜 田	—	0	54	55	2 1
	益 田	—	0	19	22	4 3
	益 田 西	—	0	24	25	1 1
第6グループ	大 田	—	0	25	25	3 0
	小計(5)	74.49	—	156	162	12 6
	井 原	67.57	2	40	41	2 1
	笠 岡	—	0	48	50	2 2
	笠 岡 東	—	0	38	37	0 ▲ 1
第7グループ	新 見	—	0	21	22	3 1
	総 社	—	0	23	24	6 1
	総社吉備路	—	0	28	28	1 0
	高 梁	81.08	2	39	37	0 ▲ 2
	玉 島	80.00	1	29	28	3 ▲ 1
第8グループ	小計(8)	75.14	—	266	267	17 1

クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会 数	会員数			
			2019年 7月1日	5月末日	内女性 会員	増減
第7グループ	児 島	—	0	22	23	1 1
	児 島 東	—	0	13	13	0 0
	倉 敷	—	0	81	83	1 2
	倉敷中央	—	0	18	19	8 1
	倉 敷 東	—	0	41	43	4 2
	倉 敷 南	100.00	1	67	69	3 2
	倉敷水島	91.49	2	23	25	1 2
	倉敷瀬戸内	—	0	41	41	0 0
	小計(8)	96.61	—	306	316	18 10
第8グループ	真 庭	100.00	3	34	33	0 ▲ 1
	美 作	—	0	26	27	1 1
	津 山	—	0	78	91	4 13
	津山中央	—	0	17	15	2 ▲ 2
	津 山 西	—	0	33	38	6 5
第9グループ	小計(5)	100.00	—	188	204	13 16
	赤 磐	—	0	8	10	0 2
	備 前	—	0	44	44	5 0
	岡 山	—	0	113	116	1 3
	岡 山 東	—	0	102	102	1 0
第10グループ	岡山北西	—	0	51	49	5 ▲ 2
	岡山後楽園	71.57	2	49	51	1 2
	小計(6)	71.57	—	367	372	13 5
	岡山旭川	—	0	31	34	3 3
	岡山中央	93.51	3	26	27	4 1
第11グループ	岡 山 北	—	0	51	50	1 ▲ 1
	岡 山 南	59.49	2	169	167	19 ▲ 2
	玉 野	89.66	2	29	29	0 0
	小計(5)	69.18	—	306	307	27 1
	岡山備南	—	0	30	32	2 2
第12グループ	岡 山 城	82.54	3	21	22	0 1
	岡山岡南	—	0	26	26	2 0
	岡山丸の内	64.58	1	46	49	3 3
	岡 山 西	60.28	2	75	76	6 1
	岡山西南	—	0	49	49	4 0
第13グループ	小計(6)	66.67	—	247	254	17 7

地区クラブ内の状況

クラブ数	66 RC
2019年7月1日現在会員数	3,016名
2020年5月末日会員数	3,074名
内女性会員数	198名
純増	58名
2020年5月出席率(ホームクラブ)	76.64%

地区だより(2020年6月)

新会員紹介



ロータリー財団への寄付



クラブ年次基金

米子 RC	2,517.36 ドル (ミリオンダラーミール)
米子 RC	1,582.64 ドル
松江 RC	4,666.67 ドル (財団ランチ)
隠岐西郷 RC	186.67 ドル (ミリオンダラーミール)
平田 RC	1,531.03 ドル (ミリオンダラーミール・財団ボックス)
出雲 RC	11.00 ドル (新会員寄付)
浜田 RC	879.00 ドル (ミリオンダラーミール)
笠岡 RC	488.89 ドル (ミリオンダラーミール)
笠岡東 RC	177.78 ドル (ミリオンダラーミール)
倉敷 RC	1,555.56 ドル (クラブ寄付)
岡山 RC	630.56 ドル (ミリオンダラーミール)
岡山北西 RC	1.00 ドル (1ドル寄付)
岡山中央 RC	1,500.00 ドル (ミリオンダラーミール)
岡山北 RC	1,281.48 ドル (ミリオンダラーミール・1ドル寄付)
岡山備南 RC	638.89 ドル (財団BOX)
岡山城 RC	776.85 ドル (財団BOX)
岡山岡南 RC	285.84 ドル (募金箱)
岡山西南 RC	1,082.03 ドル (新会員寄付・募金箱)

クラブポリオプラス寄付

倉吉 RC	30.00ドル	岡山北西 RC	1,530.00ドル
隠岐西郷 RC	462.96ドル	岡山中央 RC	840.00ドル
平田 RC	240.00ドル	岡山備南 RC	106.48ドル
出雲 RC	203.70ドル	岡山城 RC	630.56ドル
益田西 RC	365.82ドル	岡山岡南 RC	458.33ドル
笠岡東 RC	390.00ドル	岡山西南 RC	50.00ドル
倉敷水島 RC	631.02ドル		

ポリオプラスにご寄付をいただいた方々

倉吉RC 金森 実、中村輝彦、三木俊一郎、吉田圭子、戸田雅之、
山根正広、大村陽之助、松田啓一、田中良和
浜田RC 遠藤祐之、濱松 巧、畑岡 匡、螺山郁繁、伊原憲吾、

柏村英男、久保田英治、松村哲也、松尾陽一、村武まゆみ、中野智隆、菅井
一仁、高岩綾子、鶴田英也
新見RC 小林喜久雄

年次基金にご寄付をいただいた方々

倉吉RC 新井 剛、樋口壽一郎、樋口俊雄、日野節太郎、井戸垣激男、
伊藤文利、岩世 毅、景山正寿、垣田堅二郎、小林健治、倉都祥行、栗原
隆政、松井啓介、森 和美、森田輝雄、本内俊彦、澤 幸夫、中村博之、
根鈴輝雄、西田篤司、西田龍之介、西谷純美、野島丈夫、小川克彦、岡本博文、
沖 礼、大前拓也、齋木憲久、坂根國之、菅原伸育、菅笠元晴、杉島篤美、
平 守、寺地 建、鳥飼高嗣、豊田 勲、津村徹夫、馬野慎一郎、山田健太郎、
池本幸雄、八島弘明、八渡和仁
鳥取北RC 霜村哲男
境港RC 庄司尚史
松江RC 中村寿夫
平田RC 大谷厚郎
出雲RC 江渡将太
浜田RC 遠藤祐之、濱松 巧、畑岡 匡、螺山郁繁、伊原憲吾、柏村
英男、久保田英治、松村哲也、松尾陽一、村武まゆみ、中野智隆、菅井一仁、
高岩綾子、鶴田英也
益田西RC 松本祐二
笠岡RC 吉本仁志、小見山直己、榎平一郎、原田周二、今井裕一、
堀 泰典、青山典雅、小笠原和壽、片岡靖隆、小堀秀男、齋藤 丘、塩飽繁樹、
長鋪慶明、中田智明、西山義正、長谷川純の、原田一成、廣井恭允、藤井
幸治、松尾 明、宮島厚介、山名照知、山本直樹
新見RC 長尾 憲

倉敷RC 森 能隆、山田武司
倉敷中央RC 押柄富美子
倉敷水島RC 太田博朗
倉敷瀬戸内RC 芦原 勉、江口健一、藤原剛志、原 弘道、原田一郎、長谷川
寛、秦 範吉、林 康宏、平田啓郎、堀田憲作、池上仁海、今村隆英、香川
俊一、木村邦治、丸尾重仁、丸山昌己、三宅英和、森岡雅彦、長沼 徹、中桐
真彦、中村 正、中野有一、中山永浩、中山田英樹、西 庸介、西野和弘、
大熊清文、岡田恭典、小野寛治、小野 保、大迫寛良、佐野陽平、佐々木伸介、
佐藤浩明、忠政一行、高島賢二、筒井紀行、網島 勲、山田 齊、吉田衛生、
吉村孝暁
津山RC 鶴崎 実、菅田拓平、近堂申洋、高橋拓己、田邊久人、鳥越
俊之、廣田 裕、光岡宏文、森本信一、吉本英明
津山中央RC 阿形寛昇
岡山北西RC 日笠常信
岡山南RC 小野 優

メモリアル・コントリビューター

松江東RC 米田則雄が両親、米田盛造、玲子のために
笠岡東RC 大嶋元義が母、大嶋好子のために

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



樋口 壽一郎
倉吉 RC



井戸垣 激男
倉吉 RC



小林 健治
倉吉 RC



鳥飼 高嗣
倉吉 RC



岩崎 陽一
鳥取西 RC



中村 寿夫
松江 RC



松本 祐二
益田西 RC



小塚 一史
井原 RC



千々木 弘道
井原 RC



宮島 厚介
笠岡 RC



野田 洋市
岡山北西 RC



高橋 峯男
岡山北西 RC



土井 基之
岡山後楽園 RC



長谷 博明
岡山後楽園 RC



松井 浩明
岡山後楽園 RC

クラブ普通寄付

出 雲 RC 17,500円

個人特別寄付

倉吉RC 景山正寿、寺地 建、金森 実、新井 剛、樋口俊雄、日野
節太郎、戸田雅之、伊藤文利、岩世 毅、垣田堅二郎、栗原隆政、笠見和則、
倉都祥行、八渡和仁、牧田侑紀、中村輝彦、松井啓介、三木俊一郎、中村
博之、森 和美、森田輝雄、本内俊彦、村木晴一、池本幸雄、根鈴輝雄、
西田龍之介、西谷純美、野島丈夫、岡本博文、沖 礼、大前拓也、小川克彦、
大村陽之助、齋木憲久、佐々木福一、坂根國之、清水成真、菅原伸育、杉島
篤美、西田篤司、平 守、田中良和、菅笠元晴、豊田 勲、津村徹夫、馬野
慎一郎、若原道昭、山田健太郎、山田次次、山根正広、澤 幸夫、八島弘明、
吉田圭子、松田啓一
鳥取北RC 霜村哲男
浜田RC 遠藤祐之、濱松 巧、畑岡 匡、螺山郁繁、伊原憲吾、柏村
英男、久保田英治、松尾陽一、村武まゆみ、中野智隆、菅井一仁、高岩綾子、
鶴田英也
笠岡RC 山河敏幸、小見山直己、榎平一郎、原田周二、今井裕一、
堀 泰典、久我久徳、小笠原和壽、藤井幸治
倉敷水島RC 太田博朗
津山中央RC 阿形寛昇、有本 稔、有本次男、萩原一雄、初川正子、廣野
學、北原賢一郎、國米一朗、前原知明、松尾俊明、小笠原卓宏、坂田英輝
岡山東RC 藤崎信明
岡山後楽園RC 赤木 匠、秋山義信、浅海淳一、藤本隆志、藤原 學、福島
正春、池上 孝、居森正而、犬養吉晴、小坂和也、古和 聡、國貞繁樹、丸山
夏樹、三村重人、宮崎雅史、森谷行利、中村善一、那須保友、岡本宮松、岡村
和則、大角雄三、大田淳一、大塚康吉、芝田堅志、高原弘海、田邊敬三、鳥越
貞成、内山満義、吉田啓一
岡山北RC 前田俊彰、永山雅己、大森浩史、高取 新
岡山備南RC 森安直樹

クラブ特別寄付

米	子 RC		140,000円
出	雲 南 RC		22,647円 (米山BOX)
浜	田 RC		110,000円 (米山ランチ)
笠	岡 RC		52,800円 (米山ランチ)
笠	岡 東 RC		21,000円 (米山ランチ)
岡	山 東 RC		104,264円 (米山BOX)
岡	山 旭 RC		310,000円 (米山ランチ・米山BOX)
岡	山 備 南 RC		88,900円 (米山BOX)
岡	山 岡 南 RC		52,002円 (募金箱)
岡	山 丸 の 内 RC		7,613円 (米山BOX)
岡	山 西 南 RC		268,702円 (米山ランチ・募金箱)

合併の
お知らせ

赤磐ロータリークラブと備前ロータリークラブは、2020年6月30日付でRI理事会にて
合併が承認されました。合併後の名称は「備前ロータリークラブ」となります。

出席報告

(2020年6月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会 数	会員数			
			2019年 7月1日	6月末日	内女性 会員	増減
第1グループ	智 頭	55.56	3	6	5	0 ▲ 1
	倉 吉	80.00	3	54	52	2 ▲ 2
	倉吉中央	69.70	3	24	20	3 ▲ 4
	倉 吉 東	85.29	3	48	47	3 ▲ 1
	鳥 取	90.95	4	60	64	3 4
	鳥取中央	88.82	4	38	37	3 ▲ 1
	鳥 取 北	74.86	4	45	46	5 1
	鳥 取 西	78.26	3	58	55	1 ▲ 3
	小計(8)	82.20	—	333	326	20 ▲ 7
第2グループ	境 港	79.65	3	41	41	1 0
	米 子	69.12	4	76	70	3 ▲ 6
	米子中央	88.50	3	33	39	1 6
	米 子 東	61.42	3	109	107	11 ▲ 2
	米 子 南	85.71	1	68	68	4 0
	小計(5)	71.30	—	327	325	20 ▲ 2
第3グループ	松 江	81.58	2	65	62	0 ▲ 3
	松 江 東	82.00	3	49	49	3 0
	松 江 南	83.25	3	66	67	5 1
	松江しんじ湖	85.11	1	51	47	11 ▲ 4
	隠岐西郷	84.06	3	24	23	2 ▲ 1
	小計(5)	82.85	—	255	248	21 ▲ 7
第4グループ	平 田	89.91	3	41	41	2 0
	出 雲	93.82	5	55	56	2 1
	出雲中央	82.61	3	46	44	2 ▲ 2
	出 雲 南	100.00	3	70	71	6 1
	大 社	60.55	2	53	60	6 7
第5グループ	小計(5)	88.78	—	265	272	18 7
	江 津	79.61	3	34	35	2 1
	浜 田	74.54	4	54	53	2 ▲ 1
	益 田	72.73	3	19	22	4 3
	益 田 西	66.22	3	24	25	1 1
第6グループ	大 田	80.00	3	25	24	3 ▲ 1
	小計(5)	74.91	—	156	159	12 3
	井 原	68.42	4	40	41	2 1
	笠 岡	91.98	4	48	45	2 ▲ 3
	笠岡東	91.33	4	38	37	0 ▲ 1
	新 見	71.43	3	21	19	3 ▲ 2
	総 社	76.19	3	23	20	5 ▲ 3
	総社吉備路	76.40	3	28	29	2 1
	高 梁	81.08	3	39	34	0 ▲ 5
第7グループ	玉 島	84.85	4	29	26	3 ▲ 3
	小計(8)	81.84	—	266	251	17 ▲ 15

クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会 数	会員数			
			2019年 7月1日	6月末日	内女性 会員	増減
第7グループ	児 島	68.18	3	22	22	0 0
	児 島 東	91.67	3	13	12	0 ▲ 1
	倉 敷	100.00	3	81	82	1 1
	倉敷中央	64.44	3	18	17	7 ▲ 1
	倉 敷 東	88.44	4	41	40	3 ▲ 1
	倉 敷 南	77.78	2	67	66	3 ▲ 1
	倉敷水島	79.10	3	23	24	1 1
	倉敷瀬戸内	83.09	4	41	41	0 0
	小計(8)	85.11	—	306	304	15 ▲ 2
第8グループ	真 庭	97.78	4	34	33	1 ▲ 1
	美 作	96.26	4	26	27	1 1
	津 山	66.19	4	78	90	4 12
	津山中央	86.67	4	17	14	2 ▲ 3
	津 山 西	80.42	4	33	36	6 3
	小計(5)	79.72	—	188	200	14 12
第9グループ	赤 磐	22.22	1	8	3	0 ▲ 5
	備 前	75.83	3	44	39	5 ▲ 5
	岡 山	85.25	4	113	114	1 1
	岡 山 東	90.13	4	102	99	1 ▲ 3
	岡山北西	78.84	5	51	46	4 ▲ 5
	岡山後楽園	78.82	4	49	50	1 1
第10グループ	小計(6)	83.33	—	367	351	12 ▲ 16
	岡山旭川	68.15	4	31	34	3 3
	岡山中央	78.00	4	26	27	4 1
	岡 山 北	67.00	4	51	50	1 ▲ 1
	岡 山 南	67.46	5	169	161	19 ▲ 8
	玉 野	87.93	4	29	29	0 0
第11グループ	小計(5)	70.01	—	306	301	27 ▲ 5
	岡山備南	80.81	4	30	29	2 ▲ 1
	岡 山 城	85.71	4	21	22	0 1
	岡山岡南	73.81	5	26	25	2 ▲ 1
	岡山丸の内	68.23	4	46	47	3 1
	岡 山 西	77.22	5	75	76	6 1
第12グループ	岡山西南	85.64	4	49	46	4 ▲ 3
	小計(6)	77.69	—	247	245	17 ▲ 2

地区クラブ内の状況

クラブ数	66 RC
2019年7月1日現在会員数	3,016名
2020年6月末日会員数	2,982名
内女性会員数	193名
純増	▲ 34名
2020年6月出席率(ホームクラブ)	79.56%

鳥取西ロータリークラブ創立40周年を迎えて

鳥取西ロータリークラブ
2019～20年度幹事 児島 良

去る6月20日、新型コロナウイルスの影響で開催が心配されましたが、県をまたぐ移動制限が解除されたことにより、創立40周年記念式典・祝賀会をホテル・ニューオータニ鳥取において盛大に開催することができました。

記念式典には古瀬俱之ガバナーを始め、平井伸治鳥取県知事、伊藤文利、松本祐二、庄司尚史、末長範彦の4名のパストガバナーと末長範彦パストガバナー令夫人、岸 篤彦地区代表幹事、村木晴一ガバナー補佐そして第1グループ各クラブの会長・幹事など大変多くの来賓のご臨席を賜り盛大で華やかな催しとなりました。

鳥取西ロータリークラブは、1980年に鳥取RCと鳥取北RCをスポンサークラブとして発足し、同年8月6日にRI本部より認定を受けました。当初35名の会員でスタートし、徐々に会員を増やしピーク時で74名を数えましたが、その後社会の趨勢により50名を切る時期もありました。その間、タイの北部山岳民族へ校舎の贈呈・学校運営などの教育支援、「鳥取いのちの電話」への活動支援の寄付など、さまざまな奉仕活動やプロジェクトに取り組みながら会員増強に努め、現在60名の会員で40周年を迎えることができました。

創立40周年の記念事業として、①ヨーロッパで活動

している若手日本人アーティストによる「ポリオ根絶クラシカルチャリティコンサート」の実施と「ロータリーデー」の参加②社会福祉法人「鳥取いのちの電話」への活動支援特別寄付③改築された鳥取県立中央病院への記念植樹④景福寺での物故会員法要⑤記念式典・祝賀会⑥記念誌の発行の6事業を行いました。そのうち、「ポリオ根絶クラシカルチャリティコンサート」と同時開催の鳥取県東部5クラブによる「ロータリーデー」では、平日で降雪という悪条件にも関わらず予想を大きく上回る来場者があり、100万円を超える寄付が寄せられ大成功でした。この事業は当クラブの歴史の中で輝かしい1ページを飾るものとなりました。

このたび当クラブが創立40周年を迎えることができましたのも、ひとえに会員のご家族をはじめ、鳥取県東部の鳥取、鳥取北、鳥取中央、智頭の各クラブの皆さま、そして第2690地区の皆さまのご理解、ご支援があってからこそと、深く感謝申し上げます。

創立40周年は一つの通過点です。これから5年、10年さらに未来へと、地域のため、世界のための奉仕活動を発展させていきたいと存じます。第2690地区の皆さま方のさらなるご支援、ご指導をお願いいたします。



国際ロータリー第2690地区

古瀬 俱之 地区ガバナー事務所

〒693-0004 鳥根県出雲市渡橋町826

TEL (0853) 77-5599 FAX (0853) 77-5534

E-mail: furuse.g-2690@icv.ne.jp